



段々と春の到来を感じられる季節になってきました。道端でもフキノトウが顔を出しています。

2月10日のinch総会で植物と人々の博物館（ppmusee）の今後の活動に関する報告・確認事項について合意を得ました。民具、サクヨウ標本、文献、書籍、学会関連資料、個人・団体から引き継いでいる資料などの収藏品については、可能な限り収集・保管・整理を継続することになりました。展示についても整理・再開します。活動や運営に関して一部縮小・保留する部分もありますが、「博物館機能を公的な場所へ移管すること」を目指しながら今後も運営担当者間での協議を続けて行ければと思います。

月1回程度の頻度でメールリストにメルマガを配信しています。新しく送付をご希望の方、今後は希望されない方、それぞれお知らせいただければご対応します。3月11からは開館・作業日を原則月曜日に行う予定です。さくよう標本の選別、民具・書籍の整理（蔵書リストの作成、書籍番号の貼付、閲覧書架の整理など）にご協力頂ける方は、ご連絡いただければ日程調整も可能ですのでぜひご協力ください。

3月末には民族植物学ノート第17号のオンライン発行を予定しています。これまでの掲載記事も植物と人々の博物館Web（<http://www.ppmusee.org/index.html>）上で閲覧できますので、是非アクセス下さい。電子書籍の充実も図っています。今後は、研究員の学びを中心としたセミナー（ハイブリッド開催）などを開催する案も検討されています。

今年、雑穀栽培を始めてみたい方には種子を差し上げています。栽培・加工法をまとめた資料の配布、雑穀畑での実地講習（佐野川）などもありますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

---